

ロシア

2011年のロシア経済の概況

2011年の実質GDP成長率は前年比4.3%となり、1年前の政府見通し(4.2%)を若干上回った。この点では、政府が想定した通りの比較的安定した経済運営ができたと言える。ただし、当然のことながら、個別の状況を見ると「うれしい誤算」の部分があれば、想定通りにはならなかった部分もある。

最大の「うれしい誤算」は、輸出品価格の上昇である。ロシア原油の指標価格であるUralsの2011年の平均価格は、1バレル109.3ドルで、2010年の78.2ドルと比べて39.8%上昇したのみならず、経済見通しの前提だった81ドルをも大幅に上回った。ちなみに、原油の輸出量は2億3,720万トンで対前年比4.0%減少しているが、価格上昇効果により金額ベースでは32.9%増加した。ロシアの輸出総額に占める割合は46.6%にまで達した。石油製品や天然ガス、各種の鉱物資源などにおいても軒並み価格の上昇が見られ、一部品目では輸出量も増加した。その結果、年間の輸出額は2008年を上回り、過去最高の5,220億ドル(対前年比30.4%増)を記録した。

もう一つの「うれしい誤算」は農業の急回復である。2010年が不作だったので、その反動で2011年は前年比9.3%増との見通しを持っていたが、結果的には22.1%増だった。例えば、穀類の生産は同54.1%増となったが、これは2006年から2010年までの平均を10%程度上回る水準であり、非常に豊作の年だったことになる。このことは、物価の抑制にもつながった。通年の食料品物価上昇率が3.9%にとどまったこともあり、消費者物価上昇率は、ロシア連邦成立後の最低となる6.1%だった。

鉱工業生産の中では、製造業(対前年比6.5%増)が好調であり、中でも「輸送手段・設備」の生産が対前年比24.6%増加したことが目立つ。外国メーカーの国内誘致を進めてきた政策が実を結んでいるとも言える。「機械・設備」(同9.5%増)が好調であることの背景には堅調な設備投資需要を取り込んでいる面もあろう。しかしながら、手放しで喜べる状態ではない。乗用車の輸入台数が105万台(同

48.4%増)、トラックは10.9万台(同84.3%増)となっているなど、「機械、設備及び輸送手段」全体での輸入額は44.1%増加している。

また、実質可処分所得の伸びが低い中、貯蓄の取り崩しや消費者ローンの利用によって消費を伸ばしている面もあり、結果として「浪費」とも言える輸入増加が起きている様子も垣間見える。輸出と同様、輸入も過去最高を更新した。

プーチンの大統領復帰

2012年3月4日の大統領選挙で、プーチン氏が当選し、5月からの大統領復帰が決まった。限られた紙幅でやや乱暴ながら今後を占ってみたい。キーワードとしては、「安定」、「強いロシア」、「手動統治」の3つを挙げたい。

まず、「安定」であるが、今回プーチン氏自身及びその支持者が最も強く意識したのは、この点であると思われる。そもそも出馬意向を固めた理由の一つが、予期せぬ変革による混乱を避けたいということであるし、2011年12月の下院選以降の反対派の動きは「安定」の重要性を強く意識させたはずだ。「安定」は、しかし、「停滞」と紙一重であり、ロシア社会がこの点をどう評価していくかが、大きな分岐点になっていくであろう。

「強いロシア」については、特に対外政策の分野で強く意識されることになる。この面でのプーチン氏のイメージは既に国内外で確立されたものがあり、基本的にはこのイメージを維持する形での言動が続くだろう。その上で、必要に応じて、「サプライズ」を演出していくことになるのではないかと。

筆者は、プーチン氏とメドベージェフ氏の違いは「手動統治」の発動にあると考えている。前者は求心力を高めるために、個別案件に積極的に介入し、時に超法規的に解決を図るという「手動統治」の手法を多用する。後者は、どちらかという制度化、透明化による構造的解決を志向していた。今後は「手動統治」の発動が増えるであろうし、その中にはメドベージェフ首相解任といった選択肢も排除されないと考える。

(ERINA調査研究部主任研究員 新井洋史)

(対前年同期比)

| | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2011 | | | | 2011 | | | 2012 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|
| | | | | | | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
| 実質GDP | 8.2 | 8.5 | 5.2 | ▲7.8 | 4.3 | 4.3 | 4.1 | 3.4 | 4.8 | - | - | - | - | - |
| 固定資本投資 | 16.7 | 22.7 | 9.9 | ▲16.2 | 6.0 | 6.2 | ▲0.8 | 5.0 | 7.7 | 8.5 | 8.6 | 7.7 | 8.9 | 15.6 |
| 鉱工業生産高 | 6.3 | 6.8 | 0.6 | ▲9.3 | 8.2 | 4.7 | 5.9 | 4.8 | 5.1 | 3.3 | 3.6 | 3.9 | 2.5 | 3.8 |
| 小売売上高 | 14.1 | 16.1 | 13.5 | ▲4.9 | 6.3 | 7.2 | 5.2 | 6.1 | 7.9 | 9.1 | 9.0 | 8.6 | 9.5 | 6.8 |
| 実質可処分所得 | 13.5 | 12.1 | 2.3 | 2.1 | 4.2 | 0.8 | 0.0 | ▲1.0 | 1.6 | 2.6 | 0.2 | 0.3 | 6.0 | 2.3 |
| 消費者物価* | 9.0 | 11.9 | 13.3 | 8.8 | 8.8 | 6.1 | 3.8 | 5.0 | 4.7 | 6.1 | 5.2 | 5.6 | 6.1 | 0.5 |
| 工業生産者物価* | 10.4 | 25.1 | ▲7.0 | 13.9 | 16.7 | 12.0 | 7.0 | 7.8 | 9.8 | 12.0 | 10.8 | 11.8 | 12.0 | 1.9 |
| 輸出額(十億ドル) | 301.2 | 351.9 | 467.6 | 301.8 | 397.1 | 516.0 | 111.5 | 132.2 | 129.3 | 143.0 | 45.7 | 47.1 | 50.2 | - |
| 輸入額(十億ドル) | 137.8 | 199.7 | 267.1 | 167.5 | 228.9 | 305.3 | 60.9 | 79.5 | 80.8 | 84.1 | 27.8 | 27.9 | 28.4 | - |

*前年12月比。

**斜体は暫定(推計)値

出所:『ロシアの社会経済情勢(2011年11月、12月号、2012年1月号)』ほか、ロシア連邦国家統計庁発行統計資料